

JILPT 調査シリーズ

No.70

2010年6月

入職時・起業時における地域間移動 についての調査

The Japan Institute
for
Labour Policy and Training

独立行政法人 労働政策研究・研修機構



JILPT 調査シリーズ No.70

2010年

入職時・起業時における地域間移動についての調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

近年、地方経済の疲弊に伴い、都市部へ労働力や企業が集中していると指摘されている。労働力の都市への集中は、地方企業の立場からみると、必要とする労働力が確保できないという状況の発生を示唆する一方、企業の都市への集中は、地方の労働者の立場からすると、雇用の場が減少することを示唆する。つまり、都市部への集中は、地方企業の労働力確保の問題と地方労働者の雇用の問題という2つの側面を有していると考えられる。

これまでに、労働政策研究・研修機構では後者の問題についてはさまざまな雇用創出策を調査・研究することなどにより検討してきたが、前者の問題については未だ十分な検討は行っていない。そこで今回、地域間での移動を実現した者および地域間での移動を検討してはいるが未だ実現していない者を対象としたアンケートを実施することにより、地域間移動を促進・阻害する要因の検討を試みることにした。これにより、「都市から地方」あるいは「地方から都市」への移動を促進・阻害する要因が特定できれば、地方における労働力確保の問題に一定の貢献をなすことができるかもしれないと考えたためである。

このような目的を踏まえ、本調査報告書では手始めとして、「都市から地方」あるいは「地方から都市」への移動を実現した者と、これら移動を検討しながら未だ実現してはいない者の差を簡潔に検討したいと思う。

なお、地方企業の労働力確保の問題を議論するためには、地方企業の労働力に対するニーズ等も把握しておく必要があるが、こちらについては別に作成する予定となっている企業調査報告書をご覧いただければと思う。また、本調査と企業調査より得られた結果を照らし合わせながらの詳細な議論についても後日実施する予定となっている。

2010年6月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 稲 上 毅

執筆担当者

氏名

所属

おおたに 剛
大谷 剛

労働政策研究・研修機構研究員

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査名	1
2 調査対象の選定・回収状況.....	1
3 調査対象の基本属性	2
第2章 実現者と未実現者の比較.....	7
1 はじめに	7
2 実現者と未実現者の属性の差異.....	9
3 実現者と未実現者の引っ越しの目的、理由、引っ越しの在り方に関する差異.....	18
4 実現者と未実現者の引っ越し前の仕事の差異.....	33
5 実現者と未実現者の仕事に関する希望の差異.....	40
6 実現者と未実現者の引っ越し阻害要因の差異.....	50
第3章 まとめと今後の課題	62

<付属資料>

1 調査票	67
2 集計表	113

